

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1 月 平均気温(℃)	-3.7	-1.2	-1.6	-1.9	0.0	-2.2	-1.7	-1.8	下旬平年比+2.2℃
1 月 降水量 (mm)	18.0	59.3	16.0	32.0	18.0	34.0	52.0	125.3	月間平年比 42%
1 月 日照量 (h)	30.0	44.2	48.4	39.3	41.3	45.5	119.7	129.0	中旬平年比 123%

- 2020 年間：平均気温 12.2℃（平年比+0.8）降水量 1742.0 mm（平年比 146%）日照量 1955.7h（平年比 97%）
最高 38.1℃(8/11) 最低-17.3℃(2/7) 記録的暖冬(1～3 月)平年比+2.6℃・長梅雨日数 52（過去最長）・8 月猛暑日 4・11 月の夏日(20℃以上)4・12 月豪雪（6 年ぶり）
- 豪雪情報(2020-2021)：最大積雪量 79 cm(田上 1/1) 累計降雪量 318 cm(田上 12/15-1/31)
- 年度別氷点下-10℃以下遭遇(12-1 月)：過去 5 年で最多は 2017 の 15 回。

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
回数	6	11	15	11	1	13

2021 1 月気象ポイント解説

気温：年末年始寒波で上旬が平年比-2.5℃と異常に低く経過。下旬は平年比+2.2℃の高温。最低 - 15.1℃（1/21）・最高 9.8℃（1/26）。
降水量：大晦日～元旦豪雪（湿った重い雪）。大雨 10.5 mm（1/24）→消雪が一気に進む
日照量：中旬は平年を大幅に上回る。
3 か月予報：気温平年並み～やや低い 降水量平年並み ラニーシャ現象終息模様

2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

- 柿 2020 まとめ：出荷量（昨対見込み）⇒市田（おひな）柿 80% ころ柿 50% 琥珀の華 254% 乾燥時のロス、過乾燥等により出荷少な目。
琥珀→表年により量多い。
- 【生産特記 2021】
- ① 生産基盤（推定）：ぶどう 350ha・りんご 150ha・もも 83ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 7ha・柿 6ha・プラム 38ha
- ② プラム：ハウス 1 棟・昨年並みの生産量
- ③ サクランボ：7.2℃以下低温積算 1492.0h（1/8 現在・昨年比△88.0h）被覆予定 22 棟（昨年比△5） 被覆数 5 棟（1/27 時点）
- ④ も も：ハウスモモ 1 件⇒被覆：12/28 加温開始：12/31 発芽 1/25 開花予想 2/4～5 頃（平年並み）
- ⑤ りんご：花芽率 60.5%（定点調査ほ）。豊作（着果過多）や昨秋の高温の影響でふじの花芽不良（貧弱・欠落等）。二次伸長芽も目立つ。2021 は特にふじで隔年結果が心配されるため、剪定では花芽をできるだけ残し、生産量確保する。
- ⑥ 豪雪被害：年末～年始豪雪でりんご・もも老木樹等で枝折れ被害発生。
- ⑦ 凍害：早期の低温遭遇で若木中心に発生が心配される。初春（3 月）以降の被害の心配されるため、防寒資材（ワラ他）外しはできるだけ遅らせる対策が必要。
- ⑧ 生育予想：豪雪・低温で経過していることから、初期生育（発芽・開花等）は平年並みと見込まれる。また、昨年多発したカメムシ等の越冬害虫は発生量多め・発生時期平年並みと予想。
開花予想：プラム 4/5-10 もも 4/10-15 ナシ 4/18-22 りんご 4/26-28 ＊開花始めは平年より早い見込み。満開までに日数は短いと予想！

【2021 病虫害対策】

- ① 腐らん病：病斑部多々散見。1 月からの早期発生目立つ。剪定時から注意する。被害部の削り取りや被害枝の除去は見つけ次第早急 to 実施する。
- ② せん孔細菌病：昨年と比べ、枝病斑は少ない。生育初期からの防除徹底で密度抑制が可能。
- ③ 晩腐病：巨峰中心。発芽前後からの薬剤散布徹底と病源除去徹底 ⇒ 早期密度低下
- ④ 黒とう病：シャイン M 中心。発芽前後・展葉 2-3 枚目の 2 回の薬剤散布徹底 ⇒ 早期密度低下
- ⑤ 輪紋病：病源であるイボ皮が各地で目立つ。削り取りと場合により梅雨期間のボルドー散布を計画する。
- ⑥ カスミカメムシ：ぶどう中心に 5 月連休後から忌避目的の予防散布実施。
- ⑦ カメムシ類：2020 に続き越冬量は多いとの予報あり。5 月から忌避目的の予防散布実施。
- ⑧ ハダニ類：昨年りんご（赤）ハダニ多発園では、発芽前のマシン油等散布徹底。
- ⑨ キンモンホソガ：越冬量は非常に多いとの予報あり。5 月連休後から発生見込み。発生が目立つ場合は特別散布実施。